

# いわき民報

発行所 社報民きわい (第一八三番地) 地 一町田平 (第一八三番地) 電話 二二二番  
社 報 民 報  
日 刊 日 報 日 刊 日 報  
日 刊 日 報 日 刊 日 報  
日 刊 日 報 日 刊 日 報

内科小兒科眼科外科  
産科婦人科耳鼻咽喉科  
皮膚泌尿器科  
小名濱町  
**富ヶ浦病院**  
院長 安田善一  
電話 三三三番

改訂村民の参加を求めて聯合軍での經濟懇談會を開催するが平最高司令部より發せられた各種署からは大竹署長と經濟主任等指令の實行及び違反防止に注意が臨席する

**受講生へ**  
生に對する  
回覽を出した

**公選禁止は**  
流説と判明  
湯本町長の公選問題に關し六月  
末一部に地方局長が公選禁止の  
意志を發表したと傳へられて以  
來、眞疑の程が各方面から注目  
されてゐたが、三十日石原知事  
の巡視に當り湯本町政協議會議の  
千葉英一、坂本義雄の両氏が知  
事に會見その意見を求めたこと  
ろ知事は公選禁止の通達は受け  
てゐないとの言明を得たので公  
選は豫定通り九日實施の見込み  
とある

## 社會・自由兩黨が絶對

### 特異さは女性の共産黨支持

### 見逃し得ぬ新政黨要望の聲

市民はいづれの政黨にと、共産黨の政策は受けるも表したが、鯨岡氏の任期は満四  
に好感を持ち、支持の最も多いが、奇異さとして、女性に共産黨の支持が多いこと  
するが、纏て迫る縣の感を抱かされる

上小川村字根木農草野定一(五)濱町では諸準備一日午後一  
八は、根木一石三十五升と精米時から第一國民學校で結成式を  
二斗を保有しながらも供出後保舉行した  
有米皆無を爲つて四月六日から  
五月十六日迄九一キロの飯米の  
配給を受けてゐたこと發覺二日  
平署へ檢査されたが、食糧危機  
の噴く喝へられてゐる折柄不  
届至極と憤慨、他にもかゝる不  
正受配あるものとみて食糧及び  
地方事務所、町村その他各關係  
方面の協力を求めて斷乎たる取  
締りに乗出すことに決定した

**北日青年** 平市北日  
演藝大會 青年會員男  
久ノ濱町波立樂師の千日祭は二  
日(舊七月六日)午前二時を期し  
て執行されたが、大慶の修行  
もあり非常に賑つた

**メチルで五名死亡**  
三阪農業會の燃料用を提出して  
三阪村中三阪農馬目半車庫(五)ち出して飲んだとある

**波立の千日祭**  
久ノ濱町波立樂師の千日祭は二  
日(舊七月六日)午前二時を期し  
て執行されたが、大慶の修行  
もあり非常に賑つた

## 輿論調査に視

市紙は再刊以來三ヶ月に  
去る二十三日「株式會社い  
わき民報」創立發行人會  
を主催、資本金十九萬圓  
を準備、借入金二十萬  
圓を以て市内田町四八番地  
(元磐城夕刊工場)に九十  
六坪の社宅を建設、印刷工  
場整備の上出版事業、一般  
印刷業務も併せて行ひ、整  
つた

## 株式いわき民報

發起人の株式引受け數二  
千四百株、残りの千四百  
株は新聞の公共的性質か  
ら一般公募することに決  
つた

本紙は再刊以來三ヶ月に  
去る二十三日「株式會社い  
わき民報」創立發行人會  
を主催、資本金十九萬圓  
を準備、借入金二十萬  
圓を以て市内田町四八番地  
(元磐城夕刊工場)に九十  
六坪の社宅を建設、印刷工  
場整備の上出版事業、一般  
印刷業務も併せて行ひ、整  
つた

**募集**  
一、新聞記者 一名  
中等卒業二十五歳以下の  
意志強固なる青年、試験の  
上採用  
一、營業部員 一名  
高等科卒業以上、二十五才  
以下の青年  
一、女事務員 二名  
高等科卒業程度の二十歳以  
下の者  
平市田町一(電三八二)

**抑留者名簿**  
縦覽を許可  
當分公會堂内で  
比島、沖繩、太平洋諸地域の抑  
留者名簿の一號から一九號迄が  
公開された

**言寸きわい**  
市民はどの政黨に好  
感を持つか、一會の  
輿論調査の結果はなか  
く、興味深いものが  
ある、先づ現在の政黨  
では社會黨と自由黨が  
絶對多數、進歩黨から下つて  
ゐるのも何か数へるところが多  
くはあるまいか  
▼共産黨に女の支持者の多いの  
は特異とする、このところ共産  
化は先づ女性からといつた態度、  
女性の單純さをもの語る一端を  
示してゐる  
▼何れの政黨にも組みし得ずと  
の意見の多いのも輕には見  
し得ぬ問題、現下の國難打開は  
現政黨には望み得ぬとする國民  
の聲の反映とみて各政黨共自肅  
自戒すべし  
▼町長は満期といひ、御本人の  
助役は満期にあらずと稱す、何  
れが眞? 奇怪なるは湯本町政、

## 鯨岡助役の任期

### 依然問題視さる

湯本町助役鯨岡一馬氏は去月三十一日で満期と矢吹町長が發

## 一町三ヶ村の

### 經濟懇談會

四倉町では三日前九時から國  
民學校に四倉、大野、大浦、草  
民學校に四倉、大野、大浦、草  
民學校に四倉、大野、大浦、草  
民學校に四倉、大野、大浦、草

## 小名濱婦人會

一日結成式舉行

## 小名濱婦人會

一日結成式舉行

## いわき民報社

送付せられたので平市公會堂日  
本間で二日から當分の間毎日午  
八時から正午迄縦覽を許すこ  
とにしたから關係者は速慮なく

## 野澤石材

耐火石材 特約販賣  
大澤石燈籠  
優美、耐火、堅牢、格安  
大量入荷御註文ニ應ズ  
平地區木村 平第一工場内  
瀧口 勝久  
電 二九〇番

## 矢吹醫院

高級純植物性  
S.P.ポマード  
全國有名化粧品店に有ります  
本舖 東京 東橋 小橋 SP 商會  
本發 東京 東橋 小橋 SP 商會

## 金成醫院

内科 諸橋鐵彌  
外科 松本源一  
平市鎌田町  
電話 八二六番

# 市民の希望は？ 不満は？

## 呷會の輿論調査に現れた數々

平市民は現在どんなことを考へてゐるか？市に對してどんな施設を希望してゐるか？どんな点で最も不自由を感じてゐるか？更らに又市當局に對してどんな不満を抱いてゐるか？市役所に對してどんな感を持つてゐるか？これは極めて興味深い問題であると共に、市會が或は市當局が今後の市政の運営は如何にあるべきか？如何なる事業を急ぐべきであるか？市として反省すべき点は何？又執務の上にて改善せねばならぬ点は何なるか？等々を知る上に於いて、輕視せられぬ重大な問題であるが、右について呷會が實施してみた輿論調査に現れたところを拾つてみると、右に考へてゐるところと異つてゐる点も多々ある市政の實際の運営上至難なこともあるかも知れないが、また豫算技術面に於いて困難も感せず即時實施し得る問題も多いやうに見受けられる。以下は偽らぬ市民の聲である。

# 官僚臭が抜ける市役所

## 不便を啣つ回答率が壓倒的

先づ今まで市役所へ行つて不便を感じた事は何ですか？の問に對しての回答をみると、不便を感じないとの答は僅かに四、三%（男のみ）良くなりつゝあるとの答がこれ又つた二、七%（男六六、女三三、四）であり、不便を感じたとの答が殆んど大部分を占めてゐるに九三、〇%（男八五、〇、女一五、〇）を示してゐる、市當局たるもの一考せねばならぬところである、さてこの不便を感じた内容についてみれば左の如くであつて、不親切なことが筆頭にあげられ、續いては事務が迅速でなく複雑なことがあげられてゐる、これからみると市役所の民主化は未しの終止符を打たれたことになる。

# 女事務員さん不評

## 納付すべしの字句にも一矢

さて其他の回答を更らに分類してみても考へさせられるであらうとみると、男性側からは暑中半日制の廢止、配給の公正化、無料代書所の設置、責任者不在の場合代理者選定希望、執務開始時間の繰上げであり又女性側からは、上草履の準備をして欲しいといふものとなつてゐる、この外に特異な回答中には次の如きものもあるが、この回答はなかに痛みのものがあり市として下さいに改めよ。

# 首位は図書館設置

## 女性に娯樂機關を強く要望

次に私達の街として最近不自由な點に對する答へは左の通り由を感じたことは何ですか、例となつてゐる市立圖書館の設置は六、五%（男八五、七、女二〇、〇）であり、次いで十項目を擧げる自由販賣、公衆便所の増設

道路の改修公會堂の開放等の順となつてゐるが、男女別がらみては何れも男性の希望が各項目とも多いのにも拘らず、ただ娯樂機關の設置の項目のみ女性のほうが多いのも一興である。

- 1 公會堂の開放 一、一%（男六八、七、女三一、三）
- 2 公衆便所増設 一、三、五%（男六七、八、女三一、二）
- 3 道路の改修 一、五%（男六七、二、女三一、八）
- 4 夏期撤水車復活 一、一%（男五八、一、女四一、九）
- 5 市立圖書館設置 一、四、九%（男六一、二、女三三、七）
- 6 鐵道切符の自由販賣 一、四、三%（男六一、五、女三三、八）
- 7 娯樂機關設置 一、九%（男四四、三、女五五、七）
- 8 母子寮建設 一、八%（男五七、五、女四二、五）
- 9 プールの新設 一、七%（男六八、五、女三一、五）
- 10 公園の改修復活 一、一%（男七一、一、女二八、四）
- 11 其他 四、一%（男七九、二、女二〇、八）

# 衛生施設の強化強調

## 各人各様の希望

其他の希望を細分してみると衛生施設の強化（下水改善と塵芥集め）が二三、〇%（男五五、五、女四四、五）で第一位を示し、次いで戦災復興の促進一、九、〇%（男七一、四、女二八、六）市營グラウンド設置六、〇%（男一〇〇、〇、女〇）デパート建設六、〇%（男〇、女一〇〇、〇）の順序であり、これ以外に左の通りだが、何れも男性からの希望である、グラウンドを男が希望すれば、女はデパートを望むのは面白い對照をなし文化運動に對する市當局の援民衆的醫療機關の設置、市設

# 早急に實現化

## 出来るものは

以上市民の希望の中には政府の方針やその他豫算關係で早急に實現せぬものもあるが、夏期平日制の廢止、各課案内板の設置、驛前に市内案内板の設置、踏切り問題の解決、公衆便所の増設、圖書館、グラウンド、市設市場等々は是非實現せしめたいものではある、市長室の二階も現在の手狭さでは已むを得ぬが、出來得るなら階下に下す

# 回答者の年齢

## 及び職業別は

尚回答者の年齢別からみると二十歳以上が二九、二で最多、次いで四十歳以上の二六、七、三十歳以上の二一、一、五十歳以上の一三、〇、十九歳未満の九、五、六十歳以上の八、七、七十歳以上の七、七、職業別では、商業三一、七、會社員二七、八、無職一六、五、教員一四、一、官吏五、二、學生二、四、△業一、三

# 新映畫紹介

## 女のけうぼち待

### らか館平の週今

【製作スタッフ】脚本新藤兼人、演出マキノ正博、撮影三木隆人、【配役】山口寛市（小杉勇）、杉原市郎次（日守新一）、源神田澄子（早川（朝霧鏡子））、枝（星光子）、早川（朝霧鏡子）、吉田（山内明）、藤川（佐野周二）、駒島（三井秀男）、咲子（瀧美佐子）、市長（齋藤達雄）、マダモ（山崎義人）、紳士（西村青児）、竹の間の女（高峰三枝子）

る商業港、瀬戸内海大小の島官政治に不満でならなかつたを経て四國に連絡する物資と戦災者、復員者、動かぬ待帆丸の交流の港として榮える町、さうしたものを早急に救ふ眞實の政治のないことを悲しんでゐるであつた、彼はまた息子の海寄りの待合室からは、荷物を戦死に暗くなる心を嫁の早苗のつづく、瀬戸丸の出帆である、であつた

その頃待帆丸は故障を起してあつた、竹の間の女は一体何處へ行つたのであつたらうか、獨り寂しさをかけつけば娘のくに枝と一緒にさせやうとまで考へてゐる源の怠慢から生じたものであつた

さうした頃、この待帆丸には様々な人が宿泊してゐた、夕闇の中から影の如く現れた二人の復員軍人、歸郷を急ぐ藤川と妻子を戦災で失くし寂しく故郷へ歸りつつある彼の戦友吉田、或いは竹の間に宿泊する得休の知れぬ女、波止場の空は晴れ漁船の群が飛魚のやうに馳け廻つても、棧橋に巡航船が着く度に竹の間の女の瞳が失望の色が次第に濃く浮ぶ、その夜の便船で陳開荷物のとどかぬ駒島一家が戦災の痛手を胸に船さな包みと子供を抱えて待帆丸の客となる待帆丸はシャフトを折つたまま岸壁につながられて動かない、甲板には藤川が静かに釣糸を垂れてゐる、市郎次は市長たちの

ニツポシ ミシン販賣 誠實第一 三浦ミシン商會 平警察署前通り 電話 八六四番

新學期受付開始 九月八日 始業式 平市中町一番地 磐城洋裁女學院 院長 三浦幸子

寫眞の御用は 新裝のスタジオが皆様を お待ちして居ります 小名濱町本町 助川寫眞スタジオ